



伝承芸能大会プログラム

	時 程	内 容	摘 要	備考
	13:00~13:30	受 付		
	13:30~13:50	開 会 行 事	会長あいさつ、来賓祝辞	20分
1	14:00~14:15	演 目	和 太 鼓 (飛龍・満天・和魂)	15分
2	14:15~14:30		坂 上 下 浮 立 (坂 上 下 地 区)	15分
3	14:30~14:45		和 太 鼓 布 津 無 双 鼓 坊 主	15分
	14:45~15:00		(休 憩)	(15分)
4	15:00~15:15		瀬 詰 太 鼓 瀬詰太鼓保存会 子供太鼓	15分
5	15:15~15:30	演 目	ひょっとこ踊り 笑友会と若木ひょっとこ連	15分
	15:40~16:00		閉 会 行 事 賞状授与、閉会あいさつ	20分

子どもの心にふるさとを

令和4年度 第42回

長崎県子ども会伝承芸能大会

〇と き

令和5年1月29日(日)

開演 13時30分 (開場 13時)

〇と ころ

南島原市ありえコレジヨホール

南島原市有家町山川131番地1 (Tel. 0957-73-6736)

開会行事

- 1 開会のことば
- 2 県子連会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
・長崎県教育委員会
・南島原市教育長



(一財)長崎県子ども会育成連合会

友情・奉仕・鍛錬

閉会行事

- 1 賞状ならびに
記念品贈呈
- 2 講評
- 3 開催地会長あいさつ

主催：(一財)長崎県子ども会育成連合会 南島原市子ども会育成連絡協議会
共催：南島原市教育委員会
後援：長崎県教育委員会 長崎県青少年育成県民会議 長崎新聞社 NHK長崎放送局
NBC長崎放送 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ
ケーブルテレビジョン島原 ひまわりてれび

入場無料

長崎県子ども会伝承芸能大会 演目紹介

長崎県子ども会伝承芸能大会は、1979年(昭和54年)に始まり、本年度で41回目を数える長崎県子ども会育成連合会の事業です。

開催にあたっては、地元南島原市子ども会育成連絡協議会ならびに南島原市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。

この大会は、発表をとおして子どもたちに伝承芸能を継承しようとする自覚と意欲を高め、子ども会活動の振興と発展に寄与するとともに、鑑賞いただく大勢の方々に伝承芸能継承への認識を新たにさせていただこうとするものです。

本年度の第42回大会は南島原市での開催となり、南島原市内から5団体が発表します。これまでの練習の成果をご鑑賞いただき、熱演された皆さんに、賞賛と励ましの大きな拍手をおくってくださいますようお願いいたします。

出演団体には、長崎県子ども会育成連合会より、賞状と記念品を贈ります。

1 和太鼓 (飛龍・満天・和魂)



代表者 吉永昌史

【和道・深江太鼓 わんぱく太鼓会】

深江太鼓は、正長元年(1428年)当時の深江城8代当主が深江村諏訪神社を建立した際、奉納太鼓として打ち鳴らされていたのが起源といわれています。

その後、いつしか途絶えてしまいましたが、昭和56年(1981年)地域の若者たちにより復活し、その際『和道・深江太鼓』と名称を改めました。

平成2年(1990年)には、雲仙普賢岳噴火災害を経験。全国の皆様から受けた励ましを少しでも音により恩返しする為に、喜び・祈り・勇気を演目のキーワードに幅広く活動し、子供達にも和太鼓を通して健全育成、伝統芸能継承、地域との繋がり、ボランティア活動等を目的として、35年前(1987年)に和道・深江太鼓 わんぱく太鼓会が結成されました。

2 坂上下浮立



代表者 高木慎悟

【北有馬地区伝承芸能保存会(坂上下地区)】

北有馬町に伝わる浮立は、寛永20年(1643年)島原の乱の後、折木地区に移住した佐賀県川副の住人、宮田利兵衛が伝えたものとされており、佐賀地区に伝わる面浮立を伝承したものとわれています。

昭和55年(1980年)には北有馬郷土芸能保存会が結成され、現在は毎年6地区(田平・谷川・今福・西正寺・坂上下・折木)のうち1地区が担当となり、春日神社の大祭で五穀豊穡の願いを込め、浮立を奉納します。えぼしや振り袖など独特の伝統衣装に身を包み、笛に合わせて流れるように踊り、太鼓をたたき、演舞します。

3 和太鼓



代表者 隈部和久

【布津無双鼓坊主】

昭和61年(1986年)「豪力無双太鼓」として5人のメンバーで発足後、伝統芸能の創造、後継者の育成、伝統行事・文化の復興・伝承のため、太鼓演奏のみならず地域の様々な行事に関わり、一生懸命汗を流すことを常に心がけてきました。

平成5年(1993年)、「布津無双太鼓継承会」と改名するとともに、子どもたちへの指導を始め、翌年には、幼児から中学生で構成する無双太鼓の子どもチームを結成しました。

現在5歳から11歳までの子どもたちが週に1回、火曜日に稽古をしています。技術向上はもとより、学校や学年を超えた協調性を育むことを目的に活動を行い、市内のイベントや祭り等に出演しています。

発足から数十年経ち、メンバーも変わっていますが、お兄さん、お姉さんたちの背中を見て一生懸命に稽古に励んでいます。

4 瀬詰太鼓



代表者 松尾恭道

【瀬詰太鼓保存会 子供太鼓】

瀬詰太鼓保存会は、昭和53年(1978年)ロ之津町商工会若手メンバーを中心に地域の活性化とロ之津の風土を表現した新たな伝統文化の創造を目的に結成されました。

「瀬詰太鼓」はロ之津の早崎の瀬、瀬詰の瀬から見える雄大な潮流を表現して作られた曲です。

子供太鼓は、昭和58年(1983年)に地域の担い手育成を目的として創設されました。

現在は小・中・高校生が在籍し、何事にもチャレンジする気持ち大切に、地域事業など率先して参加しています。子供太鼓を卒業したメンバーが、現在の瀬詰太鼓の中心メンバーとなり、たくさんの卒業メンバーが地域を支えるために頑張っています。

5 ひょっとこ踊り



代表者 植木貴宗

【笑友会と若木ひょっとこ連】

ひょっとこ踊りは、宮崎県日向市の昔話が起源といわれており、「キツネ」に扮した稲荷神社のお稲荷様が一目惚れした「おかめ」を誘い、それを食い止めようと「ひょっとこ」が連れ出そうとするお話が表現されたものです。

加津佐町では、ひょっとこ踊りの好きなメンバーが集まり、平成14年(2002年)に加津佐ひょっとこ連笑友会が発足。若木保育園では、平成16年(2004年)7月に笑友会協力のもと活動が始まりました。現在まで、社会福祉施設への慰問やお祭り等の各種イベントに参加しています。

子供たちは笑友会のおじちゃんたちに教えてもらったことをマスターし、笛や太鼓に合わせてそれぞれが個性を出して、ユニークですごく可愛い踊り方をします。

ひょっとこ踊りは交通安全、豊年満作、商売繁盛、天漁満足、家内安全を願った踊りであり、この踊りを見た人は長生き出来るという云われがあります。